

2020/04/13

令和2年度の海外派遣留学を希望している皆さんへ

### 留学計画見直しのお願ひ

新型コロナウイルス（COVID-19）の流行に対して、世界各国は、海外からの入国制限や入国後の行動制限を課したり、あるいは都市をロックダウンしたりなど、ウイルスの国内流入・蔓延防止の措置を講じ、事態の収束に向けて懸命の努力を続けています。我が国においても、新型インフルエンザ等対策特別措置法（新型コロナ特措法）に基づく緊急事態宣言が兵庫県を含む7都府県に発出され、不要不急の外出自粛や在宅勤務の実践が呼び掛けられています。しかし、現時点において、新型コロナウイルスをめぐる世界的状況に好転の兆しは見えておりません。

私たち神戸大学経済学部・大学院経済学研究科は、従来より海外大学との教育面・研究面での連携を重視しており、多数の海外有力大学と交流協定を締結して、多くの学生の皆さんの海外への勇躍を後押ししてきました。皆さんの中には、私たちと海外大学との密接な繋がりと豊富な海外留学機会を知って進学してこられた方も多くのことと思います。海外留学に向けた皆さんの情熱をサポートしていきたいという私たちの気持ちは今後も変わることはありません。

しかし、「神戸大学国際交流危機管理マニュアル」では、外務省の危険情報レベル1以上の国・地域への派遣は原則中止などとなっており、これらの基準と新型コロナウイルス・パンデミックの現状とを照らし合わせて考えると、今年度、皆さんの健康と安全を確保しながら新たな海外派遣留学に対する支援を実施することは不可能であると言わざるを得ません。令和2年度、特に秋からの海外派遣留学を予定している皆さんには、計画の半年から一年の延期あるいは計画の中止といった見直しを強くお願いいたします。海外留学が修了要件となっている IFEEK や KUPES などの特別プログラムについては、別途、プログラム修了に関する代替措置を検討しています。こうしたお願いが、皆さんのキャリア構想に大きな変更を迫るものであることは間違いありません。事態の深刻さと状況の困難をご理解の上、皆さんが適切かつ慎重な計画見直しを行ってくださるよう再度お願い申し上げます。

神戸大学大学院経済学研究科長・経済学部長  
中西 訓嗣